

# H29 年度 新人研修プログラム 1 年目

《目的》看護の基本知識・技術・態度を学び、適切な看護援助ができる能力が身につく

- 《行動目標》
1. 病院組織の概要と位置づけが理解できる。
  2. 基本的看護が的確・安全に行える
  3. 助言を受けながら看護過程が展開できる
  4. チームメンバーとしての役割がわかり、協力できる
  5. 自己の看護観を振り返り、まとめて発表できる

《注意事項》

- ※ 各研修会は、研修ファイルと筆記用具を持参し時間厳守のうえお集まりください。尚、研修日程はその都度お知らせしませんので各自、勤務等の調整をお願いします。
- ※ 各提出物(A4 ワープロ 表紙なし 10~11 フォント)はコピーし、コピーを提出して下さい。原本は自分で管理し研修時に持参して下さい。提出物は代表者がまとめて、担当の ( F ) に 12 時までに提出して下さい。
- ※ 参考文献は「テキスト：看護技術」です。
- ※ 看護協会の研修においては、参加証提出によって出席が認められますので、研修終了一週間後以内に提出して下さい。(別紙参照)
- ※ 研修は全研修参加をお願いします。体調不良などで欠席となる場合は、担当教育委員まで連絡をして下さい。
- ※ 研修終了できない場合は次年度に全て再研修となります。

平成 29 年度 新人研修プログラム 1 年目

	研修日	事前 提出物	テーマ	ねらい	内容	講師
* 1	4/ 5 (水)		別紙にて			
* 2	4/ 6 (木)					
3	4/20(木) 10:00~17:00		点滴静脈注射の実施	医療機器の取り扱いができ、点滴の基本手技が理解でき、実践できる	サーフロー針の固定・輸液ポンプ・こんな時どうするかについて演習する	実地指導者 教育委員 感染管理者
4	5/25 (木) 13:00~17:00	5/18 (木 )	急変時の 対応 1	新人として急変時にどのような対応をするべきかがわかる	新人が急変に遭遇した場合、何ができればいいのか。心臓マッサージ、アンビュー、ECG、12 誘導の取り扱い方法など	臨床検査技師 看護師 教育委員
5	6/ 8 (木 ) 15:00~16:20	6/ 1 (木)	急変時の 対応 2	人工呼吸器やDCの取り扱いが理解できる	現在使用されている人工呼吸器とDCの取り扱い方法と留意点について学習する	看護師
6	7/ 6 (木) 15:00~16:20	6/29 (木 )	三ヶ月が過ぎて	業務の中での課題や悩みを共有し、ストレスを軽減できる	成功や失敗から学んだこと、生活面・健康面での振り返り	教育委員
7	8/7(月)or 8/8 (火)	／～ 申し込み	新人のための フィジカル アセスメント1	意図的に患者の情報を収集する手段としてのフィジカルアセスメントについての基本的な知識と技術を学ぶ	バイタルサインの意義 呼吸器・循環器、腹部、脳神経系のアセスメント	県看護協会
8	9/14 (木) 15:00~16:20	なし	看護観にふれる	副主任から看護に対する思いを聞くことによって、自分の看護観を見出し、チームメンバーとしての今後の在り方を考えることができる	副主任の看護に対する思い (忘れられない患者、患者から学んだこと、印象に残った看護体験などを聞く	各病棟師長 各外来師長
9	10/19 (木 )	1 / ～ 申し込み	新人のための メンタル ヘルス	新人がストレスの原因を理解し、自分に合った対処法を学ぶ	キャリアとは 発達のプロセス ストレスの問題など	県看護協会
10	10/26 (木) 15:00~16:20	11/ 9 (木)	フィジカル アセスメント2	一般病棟におけるフィジカルアセスメントとその対応を学ぶ	フィジカルアセスメントの実際	教育委員
11	11/17 (金) 15:30~17:00	10/13 (金)	急変時の 対応 3	モニター管理と致命的な不整脈について理解できる	主な致命的不整脈と観察留意点について学習する	医師
12	1 月			気管内挿管がわかる	自主的に各病棟の教育担当者へ働きかける	手術室スタッフ
13	1 月 or 2 月	12/ 8 (木)	私の看護観 (発表)	受け持ち患者や関わった患者のケアを通して学んだことを発表できる	教育委員にレポートを提出し、各所属にて発表する  (どのように関わってどのようになったのか、どのようにすべきだったのか)	